

# 宿泊施設「四万十の宿」事業移管のお知らせ

～四万十地域の更なる魅力向上にむけ、新たな担い手に引継ぎます～

2026年6月10日  
四国旅客鉄道株式会社  
四国開発建設株式会社

四国旅客鉄道株式会社(以下「当社」)は、当社が所有し、四国開発建設株式会社(当社連結子会社)が運営している宿泊施設「四万十の宿」について、2027年4月1日をもって、株式会社さとゆめ(以下「さとゆめ社」)に事業移管することとしましたので、お知らせします。

## 1. 施設概要

施設名	四万十の宿
建物規模	鉄筋コンクリート造 3階建/延床面積 約 1,160 m <sup>2</sup>
客室数 (現況)	30室/洋室 17室、和室 4室、露天風呂付き和洋室 4室 ロフト付き和洋室 4室、バリアフリー対応洋室 1室
付帯施設	カフェ&バー 菩提樹

## 2. 移管の背景について

「四万十の宿」は、2002年7月に当社が宿泊施設として建設し、隣接する「四万十いやしの里」(四万十市所有)とあわせて、当社グループが一体的に運営してきた施設です。四万十川河口という恵まれた自然環境を生かし、地域の皆さまと連携しながら、四万十地域の魅力発信に取り組んでまいりました。本事業に携わり24年、これまでの取り組みを通じ、「四万十の宿」の知名度は着実に向上し、四万十地域の活性化に一定の役割を果たすことができたものと考えています。

一方、当社ではJR四国グループ中期経営計画2030において、「リミテッドサービス(宿泊主体型)ホテル」の開発・運営に注力していく方針を掲げています。こうした方針のもと、今後当該エリアが持つポテンシャルをさらに引き出し、より魅力ある地域として価値を高めていくためには、宿泊施設の運営のみならず、地元と一体となった地域づくりや交流創出にノウハウを有した事業者による運営が最も望ましいとの考えに至りました。

このような観点から、後継事業者として、全国各地で地域創生の実績を有し、宿泊施設の運営も手がけているさとゆめ社に事業を引き継ぐこととしました。

## 3. さとゆめ社について

さとゆめ社は、地域資源を活かした観光・交流の創出を得意とし、体験や交流といった要素を取り入れながら、地域全体の魅力向上に取り組んでいる事業者です。旅行代理店大手HISとの資本業務提携を行うほか、高知県内の自治体とも地域振興の活動を展開しており、四万十地域においても、その特性を活かした新たな価値創出が期待されます。四万十市においても、さとゆめ社のこれまでの取り組みや理念に共感を得ており、当社としても、安心して事業を託すことができる事業者であると判断し、今回、「四万十の宿」の建物を含め、事業移管を行うこととしました。

なお、施設の運営はさとゆめ社が四万十市内で設立する新会社が担う予定です。

#### 【会社概要】

社名	株式会社さとゆめ
資本金	1億円
本社所在地	東京都千代田区九段下 3-4-5 ピラ・アペックス
代表者	嶋田 俊平
事業内容	地方創生に特化した伴走型プロデュース、コンサルティング
関連会社	沿線まるごと株式会社、株式会社かほくらし社、株式会社さとのひ、海のまち観光株式会社、株式会社巡る椎葉、能登まるごと株式会社 等
主要取引先	内閣府、林野庁、東京都、千葉県、長野県、JR 東日本、HIS、NEXCO 東日本、三井住友海上、三井不動産グループ 他

#### 4. 今後の施設運営について

JR四国グループから事業移管後も施設の屋号は「四万十の宿」を継続する予定であり、引き続き多くの皆さまにご愛顧いただきたいと思います。

さとゆめ社による運営は、2027年4月1日からの開始を予定しています。



写真左から、平田常務(JR 四国)、嶋田 CEO(さとゆめ)、高瀬社長(四国開発建設)

(注)さとゆめ社のニュースリリースについては、同社が本日付けで発表しておりますので、公式ホームページをご覧ください。(さとゆめ HP:<https://satoyume.com>)